

変えよう

町行政の3つの態度

日本共産党に党派をこえた大きなご支援をお願いします

3つとも「変える努力」をしているのは日本共産党だけ、他の議員は町行政に同調

① 町行政：「新たな投資をしてまで保育施設を拡充しない」

そのため幼稚園3歳児保育を休止、泉佐野市などに依頼する「広域保育」を実施

共産党の考え

新しい住民がふえ、
税収もふえ、子供
たちもふえる。
保育施設の拡充は
当然です。

共産党は「保育施設拡充」の具体的な提案をしています



JA 泉州前の町有地を「広場」に整備して学童保育施設を移転、そのあとの施設を幼・保施設として利用します。

② 町行政：「野球ができるグラウンドは潮風グラウンド1つでいい」

駅上総合運動場の防球ネットを撤去、たんなる「広場」に変更。少年野球の利用を制限

共産党の考え

少年野球などチビッコスポーツ振興のため、2つあっていい。
駅上の広場は、多目的グラウンドにするのが最適です。

「駅上広場」は「潮風」よりも2000㎡も広いのです

	敷地面積
駅上広場	8100㎡
潮風グラウンド	6100㎡

「駅上広場」は広域避難地に指定されているので遊具などは設置できません。

チビッコスポーツにつめたい町行政

少年野球に取り組む子どもたちは100人以上、なのに制限をかける

4月から「駅上広場」の団体専用使用規制

- 日曜日は午後1時から5時までの3時間以内
(準備・後片付け時間も含む)
- 場外に飛散する本格的な球技は禁止

③ 町行政：町民の陳情に背をむけ、毎年1億円を借金返済の積立に

共産党の考え

町民要望の実現を最優先に行う。あまったお金は借金返済の積立にしてもいい。

公民館利用料全額徴収における基準の緩和をもとめる内容の署名
約300名

もと田尻中学校総合運動場に防球ネット設置などを求める署名
936名

町財政は大幅黒字

H18年度	1億4千万円
19年度	1億6百万円
20年度	1億3千万円
21年度	2億9千万円 (一世帯当たり 8万2千円)

※百万は切り捨て

24日(日)は町会議員選挙の投票日

日本共産党田尻町支部は、政策と見解を発表しました。

たじり民報

発行：2011・4・21 NO.199 日本共産党田尻町支部 安岡喜代子465-4832

なんでも相談所 465-9939

なんでも相談は
毎週・月・水・金の
午前10時～正午

毎月第2金曜日
午後6時～8時
無料 弁護士相談